

調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト2020

“平和なまち”をテーマに絵を描いて応募しよう！
受賞作品は、市の平和祈念グッズのデザインになります。

調布市は、平成22年に核兵器のない平和な世界の実現を願う都市で構成されている平和市長会議（現：平和首長会議）に加盟しました。平和首長会議は、世界164か国・地域の7,900を超える都市が加盟しており、全加盟都市の子どもたちを対象とした「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2020”を実施し、作品を募集します。調布市では、“国際交流平和都市宣言30周年”を記念し、市独自の部門（親子で参加！3歳～5歳の部）を設け、全3部門において受賞作品を選定します。

募集要項 ※詳細は市HPをご覧ください。

1 募集部門

- 「親子で参加！3歳～5歳の部」（市独自）
- 「6歳～10歳の部」
- 「11歳～15歳の部」

「親子で参加！3歳～5歳の部」においては調布市長賞を、「6歳～10歳の部」・「11歳～15歳の部」においては調布市議会議長賞、調布市教育長賞、調布市文化・コミュニティ振興財団理事長賞、調布市文化協会会長賞、調布市国際交流協合理事長賞を1点ずつ選定し、表彰します。表彰された作品を平和首長会議へ提出します。※「親子で参加！3歳～5歳の部」を除く。

2 応募方法

“平和なまち”をテーマにした絵画作品の裏に申込書（作品に込めた思い等を記載）を貼って、締切までに応募先へ郵送又は持参してください。申込書は市HPからダウンロードできます（QRコードからアクセス可）。

応募先：〒182-8511 調布市小島町2-35-1

調布市文化生涯学習課「平和なまち絵画コンテスト」担当

3 募集期間

第一次締切 7月20日(月)

最終締切 10月13日(火)必着

※第一次締切までにご応募いただいた全作品を、市主催の原爆展(8月1日(土)～9日(日)文化会館たづくり2階南ギャラリー)にて展示予定
※最終締切までにご応募いただいた全作品から各賞を選定します。

4 留意事項

- ・絵画の大きさはB4サイズ(257×364ミリ)又は八つ切りサイズの画用紙で、使用する画材は自由。
- ・応募は一人一点まで。
- ・著作権(アニメキャラクターなどを含んだ作品)、商標権、肖像権など第三者の権利を侵害しないものであること。
- ・応募作品の返却はいたしません。
- ・市に提出された応募作品の著作権・使用権は市及び平和首長会議に帰属します。また、応募作品は、市及び平和首長会議のホームページ等で当該作品の画像のほか、作者の氏名・年齢・住んでいる国名・都市名・作品に込めた思いを公表する場合があります。

平和首長会議の2018年受賞作品



最優秀賞
ロシア・クラスノダール市
アナスタシア・スコベルツィナさん(9歳)
《作者のメッセージ》
街の上を飛ぶ天使は、その街に住む人を励まし、元気にします。

調布市への応募作品(2019年)



いば おほ
射場 光歩さん(6歳)

《作者のメッセージ》
大好きなブランコと海とみんなが優しい気持ちになるマンションがある町。そうしたら虹がかかってニコニコのお日さまが出てきました。ちょうちょも飛んでいるよ。みんなが安心して住める町です。



もりた まゆ
森田 真由さん(6歳)

《作者のメッセージ》
青空の下、色んな国の人と手をつないで仲良し。

「戦争と平和の本」の展示



令和元年度の展示

“平和”について考え、イメージをふくらませるきっかけに、ぜひご利用ください。

7月14日(火)
～8月28日(金)
中央図書館 子ども室

お問い合わせ

調布市文化生涯学習課
Tel 042-481-7139

詳細について、また、申込書のダウンロードはこちらの市HPから→



令和2年度 ピース・レター ちょうふ



ピース・レターちょうふは、調布市の平和に関するイベントや取組をまとめた情報誌です

“みんなで考えよう平和”

調布市国際交流平和都市宣言30周年

調布市では世界平和を願い、昭和58年9月27日に市議会が「調布市非核平和都市宣言」を、平成2年3月23日に市が「調布市国際交流平和都市宣言」をしています。令和2年は“調布市国際交流平和都市宣言30周年”の節目となる年です。この機会に、私たちのまちの平和都市宣言に触れ、今は“当たり前”と感じるかもしれない“平和”について考えてみませんか。

調布市非核平和都市宣言

世界の恒久平和は人類共通の願望である。核兵器保有国間で核軍拡競争が激化している今日、核戦争を回避し、原水爆の恐れのない世界を確立することは、緊急かつ重大な課題である。わが国は、戦争による世界唯一の核被爆国として、また平和憲法の精神からも核兵器の廃絶と軍備縮小の推進に積極的な役割を果たさなければならない。したがってわが調布市は、非核三原則の完全実施を願い、厳粛に非核平和都市を宣言する。

昭和58年9月27日 調布市議会

Chofu City Declaration
We Are a Peaceful, Nuclear-Free City

Eternal world peace is a shared desire of all humanity. The arms race between countries possessing nuclear weapons has intensified. The avoidance of nuclear war and the creation of a world free of the threat of nuclear weapons is an urgent and serious challenge. As the only country in the world that has experienced nuclear bombing through war, and based on the spirit of its pacifist constitution, Japan must play a proactive role in eliminating nuclear weapons and promoting disarmament. Accordingly, our city of Chofu, desiring the total implementation of the Three Non-Nuclear Principles, hereby declares itself with great solemnity to be a peaceful, nuclear-free city.

September 27, 1983
Chofu City Assembly

調布市国際交流平和都市宣言

世界には たくさんの国があり それぞれに人が生きている 赤ちゃんもいれば お年寄りもいる 言葉や文化の違いはあっても みんな仲良く生きたいと思う 調布の人も そうでない人も 日本人も そうでない人も いま 私たちは世界にとびついたら 私たちは世界の人を迎える 地球には たくさんの人が生きている みんな平和に生きたいと思う きっとそうなる きっとできると 私たちは宣言する。

平成2年3月23日 調布市

Declaration of Chofu City,
An international and peaceful city
There are a lot of countries in the world in which many people live. There are people of all ages; from babies to seniors. Although we have differences of language and culture, All people hope to be good friends and to live in peace.

Regardless of whether they are People of Chofu or not, People of Japan or not, We now embrace the world to promote mutual understanding. We now welcome people from all over the world. Many people live on this Earth. Everyone wants to live in peace. We believe that peace all over the world will come to pass. Now, let's take our hands and make a peaceful world.

March 23, 1990
Chofu City

市内の平和イベント



文化会館たづくり

原爆展 8月1日(土)～9日(日)

長崎市の被爆資料や広島市立基町高校の生徒による「原爆の絵」のほか、市の平和に向けた取組を展示します。
(担当：文化生涯学習課)



長崎原爆資料館所蔵

中央図書館

平和祈念「図書展」

7月29日(水)～9月13日(日)

戦争体験記や平和に関する図書の展示と貸出をしています。



令和元年度の様子

西部公民館

平和ロビー展示 「調布飛行場が遺した戦争の記憶」

8月1日(土)～9月6日(日)

公共の飛行場として建設された調布飛行場。戦中は陸軍に戦後は米軍に使用されました。調布飛行場付近には掩体壕も保存され、戦争の記憶を伝える遺跡も点在しています。展示では、飛行場の沿革や戦中戦後の様子などをパネルで解説します。8月29日(土)はギャラリートークあり

郷土博物館

ギャラリー展「戦時下の暮らし」

7月7日(火)～8月23日(日)

戦時下の人々の様子について、館蔵資料から当時の生活の道具などを展示して紹介します。



千人針



令和元年度の様子

調布市国際交流平和基金

調布市は、世界の様々な文化への理解を目指す国際交流事業と、平和の維持・発展に向けた平和事業を進めるため、調布市国際交流平和基金を設置しています。寄附にご協力いただける場合は、文化生涯学習課(481-7139)にご連絡ください。

- 【令和2年度の基金充当事業(予定)】
- ピース・レターちようふの発行
- 国際交流平和都市宣言30周年啓発事業



令和元年度作製

戦争体験映像記録・調布市広島平和派遣報告

戦争の悲惨さや平和の尊さを語りつぐため、戦争を体験した市民の方々のお話を映像で記録しています。また、令和元年度は広島平和派遣報告会の様子も収録しています。DVDは図書館で貸出しています。そのほか、市のホームページでも見ることができます。



動画ライブラリ HP

中学生平和派遣事業

市民の代表として、市内の中学生が被爆地で戦争や平和について学びます。その後、ピースメッセンジャーとして平和の想いを伝えていきます。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、市内公共施設やイベントなどで令和元年度の活動報告を行う予定です。



令和元年度の折り鶴

折り鶴プロジェクト

市内の公共施設や中学校などで、平和を想いながら折り鶴を折っていただくプロジェクトです。令和元年度は折り鶴が約2万2080羽集まり、広島市に献納しました。ご協力ありがとうございました。

※令和2年度は、マークの場所で折り鶴を回収します。(8月末まで)

防災行政無線による黙とうの呼びかけ

調布市は、令和2年度も防災行政無線で「黙とう」の呼びかけます。戦争で亡くなられた多くの方々の哀悼(めいふく)と、世界の平和の実現を祈るためにご協力をお願いします。呼びかけは、令和元年度ピースメッセンジャーの声で行います。

※緊急災害発生時等には中止する場合があります。ご了承ください。



北部公民館

平和講演会 8月1日(土) 午前10時～11時45分

「知られざるインド北東部-そこに住む様々な民族と文化と複雑な現実 North East India - an Unknown Part of the World: the peoples, their cultures, and the complex realities of the region」

数あるインドのガイドブックや写真集にほとんど取り上げられることもなく、その存在すら知られていないインド北東部。そこで人道支援を行う延江由美子さんをお招きした講演会です。※事前申込みが必要です。申込みについては市報7月5日号をご覧ください。

平和写真展

「行雲流水(こううんりゅうすい)～インド北東部への旅～ Moving Cloud Flowing Water - A Journey into North East India」

展示期間 <前編> 6月27日(土)～7月16日(木)
<後編> 7月18日(土)～8月8日(土)

インド北東部で生活する人々の写真展です。

※ 各イベントについて、詳細は市報もしくは市ホームページをご覧ください。各担当部署へお問い合わせください。内容は変更となる可能性があります。

施設紹介

市内には戦争や平和について学べる施設があります。



1 平和の塔

市役所の前庭に、戦争で亡くなられた方々のご冥福(めいふく)を祈り、平和の誓いを込めて建てられた「平和の塔」があります。また、今日の平和が永遠に続くことを願い、平和祈念祭を毎年実施しています。

☎ 481-7101、7102 (福祉総務課)



2 東部公民館

京王線仙川駅徒歩8分、桐朋学園の近くにあり。年に一度「平和フェスティバル」と題して、地域や時節に沿ったテーマを取り上げ、講座や関連展示、映画会、見学会などを開催しています。

☎ 若葉町1-29-21 (2階) ☎ 03-3309-4505



3 西部公民館

飛田給小近くにあり1階は西部児童館です。学習室、和室、実習室があり、広いロビーでは平和ロビー展示を実施します。水木しげる氏が描いた「総員玉砕せよ!」「コミック昭和史」などの貸し出しもしています。

☎ 上石原3-21-6 (2階) ☎ 484-2531



4 北部公民館

神代中、上ノ原小の近くにあり。平和事業として、講座や講演会、関連展示など開催しています。先の戦争を知る世代のサークル「調布自分史の会の活動拠点であり、地域の学校へ語り部として出向き子どもたちと交流しています。

☎ 柴崎2-5-18 ☎ 488-2698



5 中央図書館

市内には11の図書館があります。全館で戦争や平和に関する図書を所蔵しています。中央図書館では、平和祈念図書展示も毎年行っています。

☎ 小島町2-33-1 文化会館たづくり内 (中央図書館) ☎ 441-6181 (中央図書館)



6 郷土博物館

常設展示「調布の歴史」で、原始・古代から昭和の時代までの調布の歴史を紹介しています。空襲(くうしゅう)警報の掛け札や、焼夷弾(しょういだん)の筒など、戦争に関する資料も展示しています。

☎ 小島町3-26-2 ☎ 481-7656

A 市役所前庭の平和都市宣言パネル

「調布市非核平和都市宣言」、「調布市民憲章」、「調布市国際交流平和都市宣言」を掲載したパネルを市役所前庭に設置しています。外国の方にも読んでいただけるよう英文でも表記しています。

B グリーンホール壁面の平和都市宣言パネル

国際交流平和都市宣言30周年を記念してリニューアルしました。

C 掩体壕(えんたいごう)

調布飛行場は陸軍の飛行場であったため、戦争中は何度も空襲にあいました。掩体壕は戦争中に戦闘機を空襲から守るための施設です。コンクリートで天井を覆ったものや、天井のないものも作られました。都立武蔵野の森公園内に掩体壕が残されており、実際に見ることができます。

平和に向けた取組

調布市国際交流平和基金

調布市は、世界の様々な文化への理解を目指す国際交流事業と、平和の維持・発展に向けた平和事業を進めるため、調布市国際交流平和基金を設置しています。寄附にご協力いただける場合は、文化生涯学習課(481-7139)にご連絡ください。

- 【令和2年度の基金充当事業(予定)】
- ピース・レターちようふの発行
- 国際交流平和都市宣言30周年啓発事業



令和元年度作製

戦争体験映像記録・調布市広島平和派遣報告

戦争の悲惨さや平和の尊さを語りつぐため、戦争を体験した市民の方々のお話を映像で記録しています。また、令和元年度は広島平和派遣報告会の様子も収録しています。DVDは図書館で貸出しています。そのほか、市のホームページでも見ることができます。



動画ライブラリ HP

中学生平和派遣事業

市民の代表として、市内の中学生が被爆地で戦争や平和について学びます。その後、ピースメッセンジャーとして平和の想いを伝えていきます。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、市内公共施設やイベントなどで令和元年度の活動報告を行う予定です。



令和元年度の折り鶴

折り鶴プロジェクト

市内の公共施設や中学校などで、平和を想いながら折り鶴を折っていただくプロジェクトです。令和元年度は折り鶴が約2万2080羽集まり、広島市に献納しました。ご協力ありがとうございました。

※令和2年度は、マークの場所で折り鶴を回収します。(8月末まで)

防災行政無線による黙とうの呼びかけ

調布市は、令和2年度も防災行政無線で「黙とう」の呼びかけます。戦争で亡くなられた多くの方々の哀悼(めいふく)と、世界の平和の実現を祈るためにご協力をお願いします。呼びかけは、令和元年度ピースメッセンジャーの声で行います。

※緊急災害発生時等には中止する場合があります。ご了承ください。